

現代地図と古地図を重ねた
時代MAP®で
タイムトリップ

江戸時代の丹波亀山城下を歩く

京都・亀岡城下町散歩MAP



城下町の風情を残す亀岡の町家

城下町散策イラストマップ

明智光秀の築城以来、戦国・江戸時代を通して山陰と京を結ぶ重要拠点として発展した城下町・亀岡の歴史をたどりましょう。



城下町の風情を撮影するなら

1 撮影ポイント



明治期に創業した蔵元・関酒造の、風情ある古い町家建築

2 撮影ポイント



白壁になまこ壁の伝統的な酒蔵建築が印象的な丹山酒造

3 撮影ポイント



堂々とした白壁が続き、城下町の風情を醸す稱名寺

本町・町家カフェ

旧山陰街道に面した本町通りに建つ、築約100年の町家を「城下町観光案内所」として公開しています。週に3回ほどランチやカフェなどを楽しむことができます。城下町観光のおやすみ処としてぜひお立ち寄りください。

【時間】10:00~17:00 【休】不定休(営業日等の情報は亀岡市観光協会のホームページに掲載)

(表紙絵図)山陰丹府桑田亀山 永光尚氏所蔵 (江戸時代MAP……P6-7・10・11) 『新修亀岡市史』資料編第二巻付図より

地図上の●は、城下町の各所に設置されている道標です。道標のQRコードを携帯電話で読み取ると、観光情報や、その場所の古写真を閲覧することができるものもあります。

時は戦国。 光秀、丹波亀山城より本能寺へ出陣



亀山城跡 MAP P1-P8 A

京から西に15キロ。北の保津川、東の年谷川、西の曾我谷川、雑水川を天然の防御ラインとし、小高い丘の上に造られた亀山城。京と丹後方面を結ぶ街道上に位置した、交通や戦略上の重要地でした。

天正10年(1582)、6月1日夜。日本史上最大の下剋上「本能寺の変」が、ここ亀山城から動き出します。主君・織田信長を討つ——!明智光秀は、天下統一を目指す信長の命により、丹波攻略の軍事拠点として築いたこの城から、1万3000もの兵を率いて出陣。表向きは中国地方で毛利氏と戦う羽柴秀吉の救援を装い、京へ向かい本能寺の信長を討ちました。

光秀亡き後は、豊臣秀吉の支配を経て、天下を統一した徳川家譜代の大名の城に。家康の支配下で、豊臣系の大名の財力を使

わせるための「天下普請」により大改修を敢行。その際に城下町も整備され、光秀が基礎を築いた名城は、近世城郭として完成されました。その後、政治的にも重要な拠点であるこの城には徳川家譜代の大名が藩主として入れ替わり、松平(形原)家が藩主のときに幕末を迎えます。そして明治維新後は廃城となり、その輝かしい歴史に幕を下ろしました。今、小高い丘の上には、城跡の名残を残す天守の石垣がひっそり残ります。歴史を眺め続けたであろう、松林の森に守られながら。



亀岡城下町トリビア 丹波亀山は明治時代に入ってから、伊勢亀山との混同を避けるため現在の亀岡に改名された

まめずしき 1

亀山城は流行の最先端に行く城郭だった!?

関ヶ原の合戦後、豊臣氏の居城・大坂城包囲網の拠点として、新しい形式の城郭を作る必要がありました。そのため亀山城の天守は、従来の遠くの敵を見渡すやぐらの機能を重視した望楼型に対し、上下層の建物が一体化した層塔型の天守となりました。この築城にあたっては、城づくりの名手と名高い藤堂高虎が担当し、慶長15年(1610)に完成しました。



亀山城天守古写真(美田村顕教撮影、亀岡市文化資料館提供)

主な歴代城主の変遷

明智 光秀 (1577~82年)

羽柴 秀勝 (1582~85年)
(織田信長の四男)

羽柴 秀俊 (1591~95年)
(後の小早川秀秋)

岡部 長盛 (1609~21年)

松平 信岑 (1748~63年)

松平 信正 (1866~71年)
(亀山藩最後の藩主)

明智 光秀 (あけちみつひで)

土岐家の支流・明智家の出身。足利義昭に仕えた後に織田信長の重臣に。知性に長けた「武将」であり、領民から慕われる「統治者」、そして生涯ただ一人の女性を愛した「愛妻家」として数々の顔を持つ

明智光秀画像(本徳寺、大阪府岸和田市)



2 亀岡城下町トリビア 明智家は土岐源氏の流れを汲み、土岐家ゆかりの「桔梗」を家紋にしている



MAP / P1・P5・A

お堀沿いにお寺と神社が多いワケ

亀山城と城下町は、内堀・外堀・惣堀と呼ばれる3重のお堀で周囲をぐるりと囲まれています。また、お堀に沿って沢山の寺社が軒を連ねていますが、これは、攻めてくる敵に対して、寺や神社の建物や敷地に陣を張れるようにしたためです。城下町を守ると同時に、町の人々の心を癒してきた古き社寺。ご利益を訪ねながら、亀岡ならではの町並みを歩いてみましょう。

本町辻子 (ほんまちつし)
本町通りからこの字型に繋がる辻子には、3つの寺と5つの祠が立ち並び不思議ゾーン



書道到達

弘法さん MAP / P5・B
弘法も筆の誤り…こと、書道の名人・弘法大師をお祀りするお堂です



学業成就

天神さん MAP / P5・C
学者・政治家など多彩な顔をもつ学問の神様・菅原道真をお祀りしています



厄除け

妙見さん MAP / P5・D
天空の中心をつかさどる仏様・妙見大菩薩は厄除けの豊饒あらたかな仏様です



育児・子供守護

鬼子母神さん MAP / P5・E
安産・子育ての鬼子母神を祀り北町の地蔵院と並び女性の信仰が絶えません



火除け

秋葉神社 MAP / P5・F
秋葉信仰は、愛宕信仰と同様に防火・鎮火の神として有名です



福徳利益

大黒さん MAP / P5・G
商売繁盛・開運・家内安全と庶民の間で人気のある福の神、大黒さんをお祀りしています



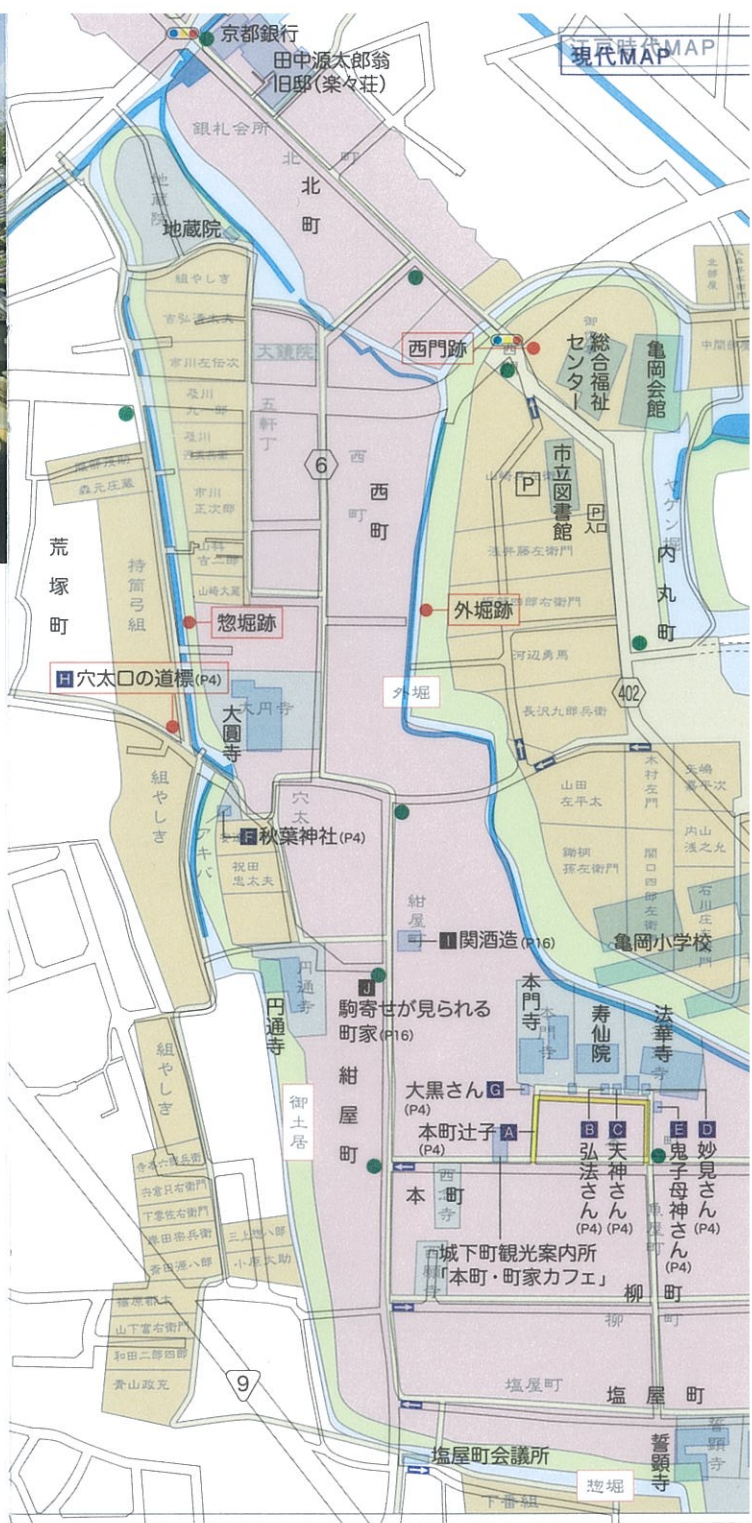
まめずしき ②

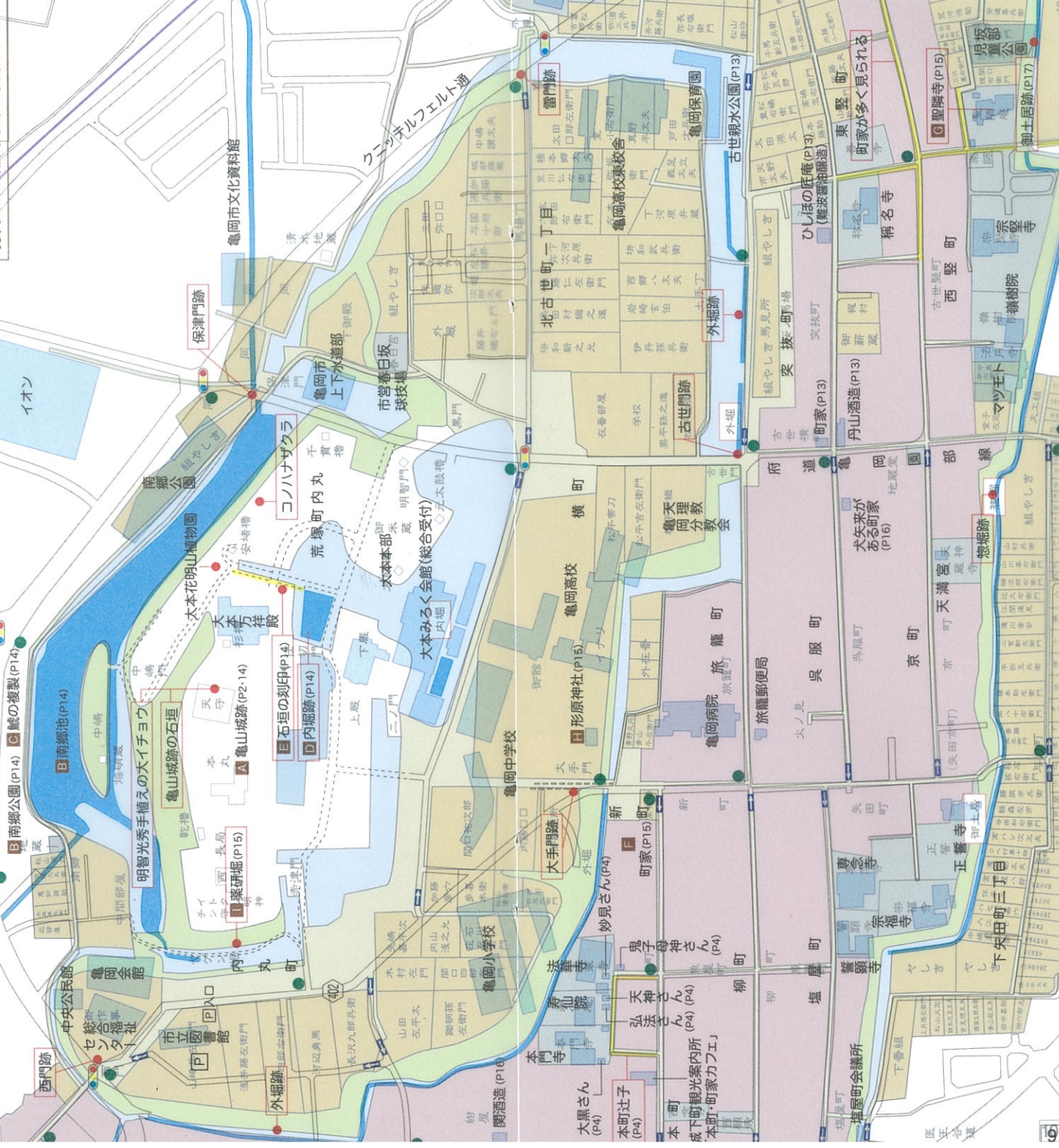
左に進むと、穴太寺。MAP / P5・H

旧山陰街道に沿って、東西に細長く広がる城下町の西側の出入口が「穴太口」。要衝だけあり界限は複雑に道が蛇行し、容易に城下へと進めない構造になっています。



江戸時代の穴太口の道標





B 南郷公園 (P14) **C** 鯉の複製 (P14)

B 南郷池 (P14)

B 明智光秀手植えの天イチョウ

A 亀山城跡の石垣

E 石垣の刻印 (P14)

D 内堀跡 (P14)

A 亀山城跡 (P2-14)

P 薬師堀 (P15)

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西長島

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

P 西門跡

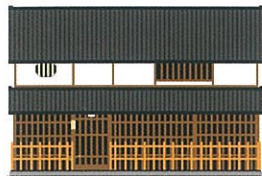


蔵が備わる昔ながらの町家 MAP P12-A

城下町の町家は、あしらい・スタイルいろいろ

京都と丹後地方を結ぶ旧山陰街道が通る亀岡は、古くから都と地方の文化が交流する地でした。それは「平入町家」と「妻入町家」が混在する独特の町の風情にも現れています。また亀岡は古くより豊富な地下水に恵まれた水の町。湧き水を生かした酒、醤油などを造る商家をめぐるのも、楽しみの一つです。

平入町家



妻入町家



屋根の山形になっている面を妻、対して水平の面を平といひ平側に入り口があるものを平入、妻側にあるものを妻入と呼びます



丹山酒造 MAP/P1-P12-B

伝統的な蔵元の町家が印象的。女性杜氏ならではの繊細な日本酒が揃う。
TEL.0771-22-0066 (酒蔵見学は年末年始休)



ひしほの匠庵 難波醤油醸造

江戸時代に創業。昔ながらの手作業で、樽熟成の醤油を作る
TEL.0771-22-0204
(土曜午後4時まで・日曜定休)

商家を訪ねよう



かつては馬の洗い場だった?

MAP/P1-P12-D

外堀跡を利用した古世親水公園を潤す清冽な湧き水は、今も町の暮らしには欠かせません。かつては堀のほかにも田畑への用水や、馬の洗い場として利用されていました。



タイムトリップマップはP.7-8-9-10を参照



中央のこんもりとした緑が亀山城跡

城下町を見下ろした大天守

城下町の北端にある小高い丘に、天守台の石垣や堀跡を残す亀山城。周囲を嚴重に堀で囲まれ、外からの視線をさえぎるような松林に覆われた城の中心には、かつて五重の大天守がありました。鳥のさえずり響く緑豊かな城跡を歩けば、往時の面影を伝える石垣や堀跡、松林を見ることができます。



亀山城跡 MAP/P1-P8-A
光秀が築城した当時の姿は定かではありませんが、江戸時代に藤堂高虎が天下普請により、五重の大天守に修築。松平家を始めとする徳川譜代の大名が城主を歴任。現在は、宗教法人大本の本部となっています（見学は大本の総合受付で申込み）

南郷池&南郷公園

MAP/P1-P8-B
本丸北側に造られた堀の跡。周辺には散策路が設けられ、春は桜並木が楽しめます



天守に飾られていた鯉（複製）
（南郷公園）
MAP/P8-C



亀山城跡にある内堀の跡
MAP/P8-D



まめすしき ④

石垣に刻まれた刻印のナゾ

MAP/P8-E

城内を散策すると、目に留まる石垣の一部に刻まれた不思議な文様。これは、諸大名に無償で城の改修を手伝わせた天下普請の名残り。大名たちは、石の運搬の際にマークを付け、自らの担当箇所を明らかにしました。



旧山陰街道が通る街並と町家（本町）

MAP/P9-F

町そのものが、お城を守る砦でした

亀山城の南側一帯に広がる城下町を、ぐるりと囲む惣堀。その内側には寺や神社、外側には下級武士の長屋が配置され、侵入者が容易に本丸に近づけないように工夫されていました。蛇行した道は迷路のように複雑です。また、住居エリアは武家地と町人地に分けられ、三の丸の跡地である内丸町や、呉服町・塩屋町といったふうに、その名残を町名から辿ることができます。



聖隣寺の土壁にある狭間
※矢や鉄砲を放つために空けられた穴といわれています



形原神社（かたはらしんじや）

MAP/P1-P9-H
五ヶ所あった城の入口の一つ、大手門跡に建つ。門を警備する外在番（そとざいばん）が置かれており、付近は今も「だしば」と呼ばれています



聖隣寺（せいりんじ）

MAP/P1-P9-G
惣堀沿いの寺で、境内には信長の四男・羽柴秀勝が建立した信長の供養塔があります。外壁の狭間が、軍事拠点の名残といわれています



聖隣寺境内にある織田信長の供養塔

まめすしき ⑤

薬研（やげん）の形をしたお堀

MAP/P1-P8-I

薬研は薬の調合に使う道具のことで、船のような形が特徴です。薬研堀とは堀の断面がこの器の形に似ているために名付けられたもの。今も当時の痕跡を見ることができます。





駒寄せ (こまよせ)
人や馬などによって家が傷められないように取り付けられた欄です
MAP/P5-11

犬矢来 (いぬやらい)
軒下を通る犬や猫の放尿から壁を守るために付けられたそう
MAP/P12-11

古より暮らしのなかで育まれてきた、 美しき住まいのかたち



煙出し
屋根の上に突き出た小屋根。大屋根との間の隙間から、煙を出す



格子戸 (こうじ戸)
中からは外が見えるが外からは中が見えにくい。室内に明かりを採り入れる。格子の形は職業などによって異なります



虫籠窓 (むしこまど)
虫かご、または藪屋(ふや)が使う道具の一つ「蒸子(むしこ)」に似ているから名づけられたとか

白漆喰(しろしっくい)

漆喰壁は防火性に富み、湿気を吸収して調節するので、季節ごとに気候が変化する日本にはふさわしい建材です。遮音性や遮光性も優れています



紺屋町にある明治10年創業の遣り酒屋・関酒造の建物 MAP/P1-P5-11



11基の山鉾が巡行する亀岡の祭り

亀岡祭は和銅2年(709)に創建された鍛山神社の祭礼で、大堰川の氾濫による水害や干ばつなどの厄災除けと豊かな実りに感謝して行われました。戦国時代に一時途絶えましたが、その後歴代城主の庇護のもと神社が復興され、祭りも町衆により延宝8年(1680)に再興。中国や朝鮮、北欧などからもたらされた渡来染織品や京都西陣の綴錦など豪華な懸装品をまとった山や鉾が城下町を巡行するさまは、町衆の心意気を感じさせます。

開催日:
10月23日(宵々山)
24日(宵宮)
25日(本祭)



山鉾は曳山8基、昇山が3基の計11基。懸装品は中国や朝鮮、インド等からの染織品のほか、京都西陣の大型綴錦が使われ、まさに動く美術館の名にふさわしい豪華さです



各町には、自分の町が保存する山鉾を取蔵する鉾蔵があります



城下町の通りは、山鉾が鉾真を立てたまま巡行できるように、電線が道路を横切らないための配慮がされています



御土居跡に登ることができる



坂部児童公園(さかべどうこうえん)

旧亀山藩士・坂部氏の屋敷跡。惣堀に接し、園内には御土居と呼ばれる土塁の一部が良好な状態で現存します。

MAP/P1-P12-11

城下町めぐりと、ゆったりのんびり亀岡時間



迫力の川下りで嵐山へ直行 保津川下り

亀岡から嵐山までの約16kmの渓谷を、約2時間かけて下ります。

保津川遊船企業組合 TEL.0771-22-5846



四季の渓谷美を楽しむ嵯峨嵐山—亀岡便 嵯峨野トロッコ列車

トロッコ列車から眺める保津峡谷の自然美は格別です。嵯峨嵐山から亀岡まで約25分。

嵯峨野観光鉄道テレホンサービス TEL.075-861-7444



散策の疲れを癒す、山間の名湯 湯の花温泉

京の奥座敷で、名湯と四季の料理を満喫。亀岡の城下町から車で約15分。

湯の花温泉観光旅館協同組合 TEL.0771-22-5645



車でお越しの際は

- ◎京都市・五条堀川から亀岡市・加塚交差点まで……約50分
- ◎阪神高速・池田木部I.Cから亀岡市・加塚交差点まで……約50分
- ◎阪神高速・大山崎J.C.Tから亀岡I.Cまで……約15分

電車でお越しの際は

- ◎JR京都駅から山陰本線(嵯峨野線)で亀岡駅下車……約20~30分

バスでお越しの際は

- ◎阪急桂駅から京阪京都交通バスで亀岡駅前下車……約40分

お問い合わせ

JR亀岡駅観光案内所 亀岡市追分町谷筋1-6(JR亀岡駅2F)
☎0771-22-0691

亀岡市観光協会 亀岡市追分町谷筋1-6(JR亀岡駅2F)
☎0771-29-5152 <http://kameoka.info/>

亀岡市産業観光部 観光戦略課 亀岡市安町野々神8
☎0771-25-5034

メールマガジン
観光情報
かめナビ・メール



亀岡の四季の情報
をお届けしています。